



三国中学校だより

【校訓】誠心 自主 創造

— 主体的に学び、協働してよりよい人生と

社会を創る生徒の育成— 合言葉:進取果敢



小郡市立三国中学校

第 13 号

令和8年8月27日発行

文責 校長 米倉佳美

2学期が始まりました! ~主体的な学びを楽しもう~

夏を感じさせる強い日差しはまだ残っていますが、暦の上では立秋を過ぎ、耳を澄ませば涼やかな虫の音がかすかに響き始めています。2学期も温かく力強い学校をみなさんと一緒に創り上げていけることを楽しみにしています。

始業式では、私から次のようなことを伝えました。

この夏私は、熊本の被災地で、初めて出会った仲間8人と、高齢者宅の片づけをお手伝いするボランティアに参加してきました。壊れた家具や散乱した荷物を一つずつ確認しながら、取っておくものの処分するものに振り分けました。作業中は、その方の人生や暮らしが刻まれている品々に、ふと手が止まってしまう瞬間もありました。「これ取っておきましょうか?」と尋ね、「ありがとう。」や「もういいです。」などの対話になるべく心掛けながら進めていきました。

処分のために荷物を入れた袋は80袋。その袋を一時的に置いていた場所に近い地域住民の方から「ここに置かれては困る! 責任者を呼んできてほしい!」という苦情が寄せられました。ボランティアの私たちには、回収の予定や行政の判断について答えられる情報はなく、どう説明すればよいのか分からず戸惑いが広がりました。そのとき、災害担当の市の職員の方が駆けつけ、相手の気持ちを受け止めながら、粘り強く、誠実に説明を続けていました。

その姿を見たとき、私の中に問いが生まれました。「災害や困難の中で、なぜ人は対立してしまうのだろう。」「地域のつながりや支え合いは、どうすれば守られるのだろう。」「誰も取り残さない社会をつくるために、私たちは何を学び、どう行動すればいいのだろう。」と。

災害は、壊れたものだけでなく、社会のほころびや課題を浮かび上がらせます。だからこそ、私たちが身近な出来事や学びから抱く問いには意味があると思うのです。問いをもつことが、今後の社会や未来を変えていくきっかけになるのではと考えています。

2学期は、みなさんが自分の「問い」について、探究していく機会をもつようになります。授業で学んだことから生まれた疑問、仲間と力を合わせて何かを創り上げる経験の中から生まれた疑問、地域や社会のニュースに触れたときの違和感や気づきから生まれた疑問等、それらのすべてが、探究的な学びの源になります。その「問い」について、仲間と語り合い協働しながら、または、個人で追究しながら、最適解を探していくことを楽しんでいけたらと思っています。



空も秋らしく



朝日新聞 R8.8.10

探究的な学びを楽しもう!



ボランティア部（鉄板部）～地域で輝き 地域とつながる～

7月18日（土）に、美鈴が丘区の夏祭りが一ノ口公園で行われました。天候にも恵まれ、三国中吹奏楽部の元気な演奏で夏祭りがスタートしました。地域の方もたくさんこられていました。

とてもにぎやかな雰囲気の中、オレンジ色のTシャツを着た三国中生が大活躍。今年はボランティア希望者が多く、地域の方に見守られながら、焼きそばを焼く、かき氷を作る、接客をするなど、協力しながら笑顔で頑張っていました。店頭の看板も三国中生が手作りしたもので、地域の方の目に留まるよう工夫がありました。みなさんが地域の方と一緒に参画している姿は、とても頼もしく感じられました。



吹奏楽コンクール ～爽やかな一体感が会場いっぱいに広がる～

筑後地区吹奏楽コンクールを皮切りに、より高みの舞台を目標とした、吹奏楽部の熱い挑戦がスタートしました。

課題曲は、「あつまれ おもちゃのマルチャ！」（作曲：伊藤 士郎）でした。「マルチャ」はイタリア語でマーチ、行進曲です。マーチの軽快なリズムにのって、ブリキのおもちゃやロボットたちが目の前で行進しているような、そんな楽しくてワクワクする演奏に心が軽やかになりました。

自由曲は、「カルミナ・ブラーナ」（作曲：C.オルフ、編曲：J.クランス）でした。先生の指揮が始まった瞬間、押し寄せてくるようなエネルギーと高揚感に、胸が震えました。ステージのみなさんの集中した眼差しが力強く、素晴らしい表現力に圧倒されました。

結果は以下の通りです。

- | | | |
|-----------|------------------|------------------|
| ◆7月30日（金） | 第26回筑後地区吹奏楽コンクール | 〈久留米シティプラザ〉 |
| | 金賞 | ※福岡吹奏楽コンクール出場決定 |
| ◆8月 3日（月） | 第71回福岡吹奏楽コンクール | 〈福岡サンパレス〉 |
| | 金賞 | ※福岡県吹奏楽コンクール出場決定 |
| ◆8月 8日（土） | 第42回福岡県吹奏楽コンクール | 〈福岡サンパレス〉 |
| | 金賞 | |

8日（土）の福岡県吹奏楽コンクールでは、演奏順が3番目ということで、早朝から練習に励み、よい雰囲気最後まで努力しました。九州大会には僅差で出場が叶いませんでしたが、みなさんのたゆまぬ努力が見事に調和し、気高い響きとなって会場を満たしました。三国中学校の演奏は、聴く人の心の奥深くまで届き感動の舞台となりました。

NHK全国学校音楽コンクール ～澄んだハーモニーに心が引き寄せられる～

7月31日（金）に、福岡市民ホールで、第93回NHK全国学校音楽コンクール・福岡県コンクールが開催されました。

課題曲は、「花へ。」（作詞・作曲：反田 恭平、女声三部編曲：土田 豊貴）でした。優しく美しいピアノに導かれた、大切な人に語りかけるようなハーモニーには、三国中学校コーラス部のみなさんの優しさも表れているようでした。

指揮を 先生、伴奏を2年生 さんが行いました。

自由曲は、「リフレイン」（作詞：覚和 歌子、作曲：信長 貴富）でした。無伴奏の曲で、思春期の揺れる気持ちが歌詞に込められています。今の自分とも重なっているところもあるようで、一人ひとりの丁寧な歌声が心に響きました。結果は、奨励賞でした。

三国中は、このコンクールでは演奏順が最後でした。その学校は、審査結果発表前に出場校全員で歌う全体合唱で、指揮と伴奏を担う大役がありました。先生の指揮と さんの伴奏で、コンクールに参加した中学生全員の歌声で会場がひとつになりました。

